

国道4号大玉地区景観検討

ニュースレター vol.4



平成16年12月 発行/国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所

美しい国道4号の実現に向けて、初の沿道事業者調整会議を開催

12月9日(木)、大山公民館にて沿道事業者調整会議(第1回)を開催しました。当事務所では現在国道4号拡幅整備事業を進めておりますが、今回の会議は、沿道に事業所を開設されている方にお集りいただき、大玉らしい一体的な美しい景観をつかっていくための調整を図ることを目的としています。当日は現在検討中の景観整備イメージをご覧いただき、協力して進めたい景観づくりについて意見交換を行ないました。次回の会議は平成17年1月に予定しています。

(本会議は景観検討懇談会と連携し、アドバイスを受けながら進める予定です。)



整備イメージをCGアニメでご覧いただきました

国道4号大玉地区景観検討に関する事業者調整会議 開催概要

開催日時

平成16年12月9日(木)
17:00~19:00

参加者

沿道の皆さん 14名
(11事業者)

事務局 10名

(福島河川国道事務所
・大玉村役場・設計会社)

会場

大玉村 大山公民館

議題

国道4号大玉地区の景観の考えかた
事業スケジュール
沿道の皆さんと共同(協働)で行なう
景観づくりの内容(案)

活発な意見交換が行なわれましたので、一部を紹介します

事務局
の説明

【検討項目(案)】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 民地と一体となった沿道の景観整備 | 4. ボランティアサポートプログラム()の活用 |
| 2. 看板類の統一化、集約化、デザインの検討 | 5. 村道等を介した国道への出入り |
| 3. 引き込み柱の地中化 | 6. 景観の方針を共通認識とするためには |

意見
交換
内容

一体的な道路景観整備について

- ・ この会議に先立つ景観診断では看板などが悪い評価を受けており、事業者も何か協力できないか考えたい。
 - このような取組は地域イメージ企業イメージの向上につながると考えています【事務局】
- ・ 協力できることがあればするので、話し合いの場を持ってほしい。
- ・ 全て一律に花を植えるようなことになると、業種によっては支障もあるのではないかと。
- ・ ガソリンスタンドを経営しているが、大きな看板はどう扱われるのか。
- ・ 看板を新たに建てたいと考えているが、景観条例による規制を受けるか。
 - 集合化なども検討しており、一社で大きなものを作ることは避けたいと景観懇談会で話し合いをしています。また、村役場でも相談に応じています。【事務局】

拡幅事業全般について

- ・ 道路の設計はできているのか。出入口の位置や幅について調整するのか。
 - 道路本体の設計はほぼできており、出入口の位置等はこれからですが、工事の段階でも調整は可能です。【事務局】
- ・ 村道に信号は設置されるか。
 - 既存の玉貫、東に加え、広松、宮下の4交差点に信号設置の予定です。【事務局】

今回の事業者調整会議について

- ・ このような会が開かれたのはよいことだと思う。
- ・ 夜間の開催のほうが出席しやすい。



次の4項目は次回(平成17年1月)より具体的な相談を行なう予定です

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ・ 民地と一体となった沿道景観整備 | ・ 看板類の統一化、集約化等、デザインの検討 |
| ・ 引き込み柱の地中化 | ・ ボランティアサポートプログラム()の活用 |

「ボランティアサポートプログラム」とは、地域や企業のみなさんに道路の美化清掃に参加していただき、皆さんと共に快適な道路づくりを行っていくものです。

国道4号大玉地区景観検討に関するご意見・お問い合わせは

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所工務第二課

〒960-8584 福島県黒岩字榎平 36

TEL : 024-546-4331(代) FAX : 024-544-2497

HP: <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>